

12課

9月19日

伝えるに値するメッセージ



安息日午後 9月12日

暗唱聖句

わたしは、もうひとりの御使が中空を飛ぶのを見た。彼は地に住む者、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音をたずさえてきて、大声で言った、「神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め」。(黙示録 14 : 6、7、口語訳)

わたしはまた、別の天使が空高く飛ぶのを見た。この天使は、地上に住む人々、あらゆる国民、種族、言葉の違う民、民族に告げ知らせるために、永遠の福音を携えて来て、大声で言った。「神を畏れ、その栄光をたたえなさい。神の裁きの時が来たからである。天と地、海と水の源を創造した方を礼拝しなさい。」(黙示録 14 : 6、7、新共同訳)

今週の聖句

Ⅱペトロ 1 : 12、16~21、黙示録 19 : 11~18、14 : 14~20、コヘレト 12 : 13、14、黙示録 14 : 6~12

今週のテーマ

キリストのあがないの死は、普遍的なものでした。つまり、時代や場所に関係なく、これまでに生きてきたあらゆる人のためのものでした。従って、福音は、すべての言語、文化、背景の人々に語りかけ、民族的隔たりを乗り越えます。イエスが、その生涯、死、復活によって、陰府の支配権と力に勝利されたというのは、信じがたいほど良い知らせです。福音はすべてイエスに関することです。イエスは私たちのために死に、私たちのために生きておられます。

聖書は、イエスの二度の来臨を重視しています。イエスはかつて、私たちがあがなうために来られ、その計り知れない犠牲によって買い取られたものを家に持ち帰るため、もう一度来られるのです。聖書の最後の書である黙示録は、戻って来られるイエスにこの世を備えさせるために特別に書かれました。それは、今の世代に対する緊急のメッセージです。私たちは今週の研究で、黙示録が21世紀の現代社会とどのような関わりを持っているかについて学びます。また、終末のメッセージを伝えるようにという、終わりの時代の教会に対するイエスの訴えも再発見するでしょう。

救済史を通じて、これから起こることに人々を備えさせるため、神は預言のみ言葉によって特別なメッセージを定期的を送ってこられました。神が不意を突かれることなど決してありません（イザ 46：9、10）。大洪水の前の時代、大洪水がやって来ると、神はノアを通してこの世にメッセージを送られました。エジプトでは、神はヨセフを立てて、7年間の豊作の間に飢饉に備えさせられました。ユダの預言者たちは、バビロンの軍隊によってエルサレムがやがて崩壊することを民の指導者たちに警告しました。悔い改めよ、というバプテスマのヨハネのメッセージは、イエスの初臨に国民を備えさせました。

問1 IIペトロ 1：12 を読んでください。ペトロは、彼の世代に対する神のメッセージを説明するために、どのような表現を用いていますか。

問2 IIペトロ 1：16～21 を読んでください。ペトロや弟子たちが宣べ伝えた「いま持っている真理」（12 節、口語訳）のメッセージとは、どのようなものでしたか。

紀元1世紀にとって永遠の重要性を持っていたメッセージは、キリストが来られたということでした。父なる神の愛は、十字架でのキリストの犠牲を通してあらわされました。「罪の支払う報酬は死」ですが、キリストによって、永遠の命がすべての人のために確保されたのです。信仰によってそれを受け取るかどうかは、私たちの選択によります（ロマ 3：23、6：23、エフェ 2：8）。イエスによるこの救いのメッセージは、無効になることはありません。すべての世代にとって、これは「いま持っている真理」です。

聖書の最後の書である黙示録は、人々をキリストの間もない帰還に備えさせるため、終末という文脈の中で、イエスと彼による永遠の救いを示すとともに、人間の伝統や自己本位な宗教心の偽りを暴露しています。黙示録は最初から最後まで、イエスと、彼が人類のためになさった働きを明らかにしているのです。

イエスは、父なる神のご品性を真にあかしめる方です。彼は、「地上の王たちの支配者、……わたしたちを愛し、御自分の血によって罪から解放してくださった方……わたしたちを王とし、御自身の父である神に仕える祭司としてくださった方」（黙 1：4～6）です。黙示録はすべて、イエスと、間もない再臨にご自分の民を備えさせるための終末のメッセージに関係しています。

四福音書は、おもにキリストの初臨に重点を置き、その誕生、生涯、奉仕、死、復活の物語を述べています。しかし黙示録の第一の焦点は、何世紀にもわたる積年の争いの山場です。黙示録の中の主要な預言は、いずれも私たちの主の輝かしい帰還の場面で終わっています。

問3 黙示録 1：7、11：15、14：14～20、19：11～18 を読んでください。
これらの箇所には、いずれもどのような類似した結論が見られますか。

黙示録の最初の章から最後の章に至るまで、それぞれの預言の山場はイエスの到来です。「屠られた小羊」(黙5：12)は、王の王、主の主として再びおいでになります(同19：16)。彼は、ご自分の民を虐げ、迫害するすべての敵を打ち倒し(同17：14)、このような罪の悪夢の中から彼らを解放し、彼らを栄光のみ国へ連れて行ってくださいます。善と悪の大争闘は終わるでしょう。地球は新しくされ、あがなわれた者たちは永遠に主とともに生きるのです(黙21：1～4)。

黙示録22：7(さらに12、17、20節も参照)で、イエスは次のように言っておられます——「見よ、わたしはすぐに来る。この書物の預言の言葉を守る者は、幸いである」。このように、全人類に対する主の最後の訴えは、彼の愛に応え、彼の恵みを受け入れ、彼の真理に従い、彼の速やかな帰還に備えよ、というものです。黙示録はイエスの招きで締めくくられています——「『霊』と花嫁とが言う。『来てください。』これを聞く者も言うがよい、『来てください』と」(黙22：17)。

私たちの主は、みもとへ来るようにと、永遠の命を求めらるすべての人を招いておられます。そして次に、救いのメッセージを受け入れ、主の帰還を熱心に待ち望んでいる私たちを招いておられます——彼の愛のメッセージを受け入れるよう、ほかの人たちも一緒に招いてほしいと。主が私たちを遣わされるのは、間もないご自分の再臨にこの世を備えさせるメッセージを伝えるという使命のためです。この世に宣教するイエスの働きに参加することほど、報われるものはありません。終末時代の救済計画のためにキリストに協力することほど、やりがいのあるものはありません。

キリストはすぐに来られるのでしょうか。ヨハネはこの言葉を2000年ほど前に書きました。しかし、死者の状態に関する私たちの理解を考慮に入れるなら、(私たち1人ひとりにとって、個人的な体験として)キリストの再臨は、なぜ私たちが死んだ直後のことなのか。この事実は、キリストが確かにすぐ来られることを理解するうえで、いかに助けとなりますか。

黙示録の中心は14章です。この章は、人類史の最後の時代に生きる神の民にとって極めて重要であり、神からの終末のメッセージを人類に開示しています。この終末のメッセージは、神の民と全人類にとって非常に重要です。

問4 黙示録14：14～20を読んでください。主の再臨を描くために、ここではどのような象徴的表現が用いられていますか。

収穫という象徴的表現は、キリストの再臨を描くために聖書の至る所で用いられています（マタ13：37～43、マコ4：29）。黙示録14章において、実っている穀物の収穫は、義人たちのあがないをあらわし、熟しすぎたぶどうの収穫は、悪人たちの滅びを表現しています。黙示録14：6～12には、地球の最後の収穫に人々を備えさせる終末の緊急メッセージが含まれています。

問5 黙示録14：6、7を読んでください。この2節の中に見いだされるメッセージの核心部分は何ですか。私たちセブンスデー・アドベンチストが何者であるのかを理解するうえで、これらの聖句はいかに助けとなりますか。

黙示録14章の第一天使のメッセージは、人生の目的を探し求めている21世紀の人々の心に訴えます。このメッセージは、すべての人を赦す神の恵みの福音を提示しています。それは私たちを罪から洗い清め、勝利者になる力を私たちに与えます。このメッセージは、キリストが私たちを創造し、あがなってくださったという事実に基づいて、自分に価値があることの根拠をすべての人に提供するとともに、いつの日か、あらゆる不正が神の最後の裁きによって終わることを指摘しています。それは信じがたいほど良い知らせです。なぜなら、不義が永遠に続くことはないからです。

「セブンスデー・アドベンチストは、特別な意味で、見張りと光を掲げる者として、この世に置かれている。滅び行く世界に対する最後の警告が彼らに委ねられた。神の御言葉からの驚くべき光が彼らを照らしている。彼らに、第一、第二、第三天使のメッセージの宣布という最も厳粛で重大な働きが与えられた。これほど重大な働きは他にない。彼らは、他の何ものにも心を奪われてはならない」（『伝道』上巻160ページ、一部改変）。教会として、さらに重要なことに、個人として、私たちはいかにこの言葉を深く心に刻むことができますか。

黙示録の終末のメッセージは、全人類に対する救いの恵みに満ちあふれておられるイエスを伝えています（黙14:6）。このメッセージは、神を「畏れよ」、つまり私たちのあらゆる行動において神に敬意を払い——神の戒めを尊重し、神の裁きを踏まえて神の律法に従い——なさいという熱い訴えです（同14:7）。「神を畏れる」ことは、私たちの考え方と関係しています。このメッセージは、神を喜ばせ、私たちのあらゆる考えにおいて神を第一にするように生きよ、という訴えであり、それは私たちを信心深く生きさせる従順な態度です（箴言3:7、使徒9:31、Iペト2:17）。さらにこのメッセージは、神の「栄光をたたえなさい」と私たちを招いています。神の栄光をたたえることは、生活のあらゆる面における私たちの行動と関係しています。

問6 コヘレト12:13、14、Iコリント6:19、20を読んでください。これらの聖句は、神を畏れ、神の栄光をたたえるとはどういうことかを理解するうえで、いかに助けとなりますか。

道徳的に無責任な時代であって、多くの人が、自分以外のだれに対しても説明責任がないと感じていますが、この裁きの時に関するメッセージは、私たちが自分の行動に責任を持たねばならないことを思い起こさせます。神を畏怖する態度、神に対する従順、そして裁きの間には、つながりがあります。従順は、イエスとの救いの関係の実です。彼の義だけが裁きを通過するのに十分であり、彼の義があるので、私たちは安んじていられます。彼の義によって、私たちは自分のあらゆる行為において神のみ名に栄光を帰すように生きるのです。

問7 黙示録14:7、4:11、創世記2:1~3、出エジプト記20:8~11を読んでください。神に対する真の礼拝の基礎は何ですか。安息日は、そのような理解をいかに反映していますか。

サタンはこれまで安息日を攻撃してきました。なぜなら、それがまさに礼拝の中心であると、彼は知っているからです。安息日は、キリストを創造主として称賛し、あらゆる場所にいるすべての人に、「天と地……を創造した方を礼拝しなさい」（黙14:7）と訴えます。進化論の時代に、安息日は今日的意義を伴って語ります。安息日は、私たちを創造し、私たちの真の価値を感じさせてくださるイエスを礼拝することへ、私たちを呼び戻すのです。

問8 黙示録 14 : 8、17 : 3~6、18 : 1~4 を読んでください。これらの聖句から、靈的なバビロンについて何がわかりますか。

黙示録の中では、「バビロン」という言葉が、人間の業、人間が作った^{わざ}伝統、誤った教理に基づく偽りの宗教制度をあらわしています。バビロンは、イエスと彼の罪なき生涯よりも、人間と自分の義（正しさ）を称賛し、神の命令よりも、人間の宗教的教えという命令を優先します。バビロンは、偶像礼拝、太陽礼拝、そして靈魂不滅という誤った教えの中心地でした。この偽りの宗教制度は、古代バビロンの多くの宗教的行為をさりげなくその礼拝に取り込んできました。私たちの滅び行く地球に対する神の終末のメッセージは、イエスと彼の義に関するメッセージです。それは天の訴えそのものです——「倒れた。大バビロンが倒れた。……わたしの民よ、彼女から離れ去れ」（黙 18 : 2、4）。神は、キリストのメッセージを十分に高めるためにセブンスデー・アドベンチスト教会を興されました。イエスを高く掲げることは、彼が教えられたあらゆることを高く上げることです。それは、「道であり、真理であり、命である」（ヨハ 14 : 6）方を宣べ伝えること、イエスの真理とは対照的なバビロンの誤りを明らみに出すことです。

問9 黙示録 14 : 7、9~11 を読んでください。これらの聖句の中で、対照的などのような礼拝対象が強調されていますか。

黙示録 14 章は、二つの異なる礼拝行為——創造主の礼拝と獣の礼拝——を描いています。これら二つの礼拝行為は、神の礼拝日、つまり真の安息日と、その代わりとなる偽りの安息日を軸に展開しています。安息日は、私たちが創造主、あがない主、やがて来られる王なるキリストによって得ることのできる休息、確信、安心の象徴です。偽りの安息日は、人間の論理的思考と人間が作った命令に基づく偽りの代替物を象徴しています。

黙示録 14 : 12 を読んでください。この聖句は、とりわけ先行する内容との関連において、何と何を言っていますか。律法と恵みは、この聖句の中でいかにあらわされていますか。私たちはこのことから、いかに律法と恵みが福音の分ちがたい二つの側面であるかということについて、何を学ぶべきですか。

「神は、古代のイスラエル人を、この世の光として立つために召されたように、今日、彼の教会を召しておられる。第一、第二、第三天使の使命である真理の、強力な包丁によって、彼は多くの教会から、また世の中から、彼らを切り離し、彼ご自身との神聖な近い関係へと導かれた。そして彼の律法の保管者とし、現代の重大な預言の真理を彼らに委託されたのである。古代のイスラエル人にゆだねられた聖なるみ言葉のように、これは世界に伝えなければならない神聖な信託財産である。

黙示録 14 章の三天使は、神のメッセージの光を受け入れ、彼の代理人として、地のすみずみまで警告の声を響かせるために、出て行く人々を代表している。キリストは彼の信者たちに『あなたがたは、世の光である』（マタイ 5:14）と宣言しておられる。イエスを受け入れるすべての者に、カルバリーの十字架は『魂の価値を見なさい。「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ」（マルコ 16:15）』と語っている。何ものによっても、この働きを妨げさせてはならない。今日それはきわめて重要な働きであって、永遠にまで影響の及ぶ働きである。イエスが人々の贖いのために払われた犠牲により、人間の魂に対し表された愛が、彼のすべての信者たちを動かすのである。……

キリストは、彼に自己をゆだねる人間たちの 1 人びとりを、どんなに喜んで受け入れられることであろう。彼は人間を導いて神と結合させるが、それは、彼が受肉の愛の奥義を世界に伝えることができるためである。そのことを語りなさい、祈りなさい、歌いなさい、世界を彼の真理のメッセージで満たし、遠い地方にまで前進し続けなさい」（『教会への勧告』上巻 112、113 ページ）。

話し合いのための質問

- ① 黙示録 14 章の三天使の使命は、セブンスデー・アドベンチスト教会の核心部分をいかに明らかにしていますか。
- ② 安息日について、考えてみてください。安息日に含まれるメッセージがとても重要なので、神は、私たちが神を創造主、あがない主として覚えるために生活の七分の一を取り分けるように命じておられます。また、聖なる山や聖なる都とは違い、私たちはどこかへ行って礼拝する必要がありません。安息日は私たちのところにやって来ます。この事実は、安息日とそれが指し示すものの重要性を理解するうえで、いかに助けとなりますか。
- ③ バビロンが倒れるということ、あるいは獣のしるしという概念を、私たちは相手を傷つけない方法で、親切で思いやりをもって説明する必要があります。どうしたら可能な限り攻撃的でない方法で、これらの真理を伝えることができるでしょうか。